

2009年度岡山大学大学院自然科学研究科・環境学研究科(博士後期課程)
E S D(Education for Sustainable Development)に基づく留学生特別プログラム
学生募集要項

1. プログラムの目的

環境問題は、21世紀の人類社会が直面している最も重要な課題である。日本政府は、世界各国における環境問題への取り組みを先導していくため、2002年のヨハネスブルク・サミットにおいて、ESD (Education for Sustainable Development : 持続可能な開発のための教育)を提唱し、2006年3月には「我が国におけるESDの10年実施計画」を策定して、ESDの具体的活動を開始しました。

岡山大学では、総合大学としての高度な学術機能の集積と21世紀COEプログラムに代表される研究・教育面の特色をふまえて、総合学術スローガンとして「自然と人間の共生」、中期目標として「人間社会の持続的進化のための新たなパラダイム構築」を掲げており、環境学の国際拠点形成を目指しています。

岡山地域は、2005年6月にESDの推進拠点であるRCE (Regional Center of Expertise for ESD, 平成18年5月時点で世界12カ所)に指定されており、我が国における環境学教育を先導する地域となっています。

また、岡山大学には、ESD推進と国際環境専門家の育成を目的として、ユネスコチェアの設置が認められており、本プログラムでは、岡山大学における環境学の国際研究・教育拠点形成への取り組み、自然科学研究科と環境学研究科における留学生受入実績、ならびに21世紀COEプログラム、魅力ある大学院教育イニシアティブ等の推進実績をふまえて、国連が提唱する「ESD(持続可能な開発のための教育)」に即した、英語による留学生特別プログラム(博士後期課程3年)を実施します。そして、開発途上国を中心とする留学生受け入れによる環境専門家の育成を通じて、国際社会への知的貢献と我が国大学の国際競争力の強化を図ります。

なお、入学の時期は2009年10月であり、英語で授業を行うことにより、留学生の言葉による負担の軽減を図っています。

2. 募集人員

研究科名	専攻名	募集人員
自然科学研究科 (博士後期課程)	先端基礎科学専攻	8名
	産業創成工学専攻	
	機能分子化学専攻	
	バイオサイエンス専攻	
環境学研究科 (博士後期課程)	社会基盤環境学専攻	
	生命環境学専攻	
	資源循環学専攻	

3. 出願資格

- (1) 日本国籍を有しない者
- (2) 「出入国管理及び難民認定法」に定める「留学」の在留資格を有する者又は大学院入学後に「留学」の資格に変更できる見込みの者

上記(1)、(2)の要件を満たし、次の各項のいずれかに該当する者

- ① 修士の学位若しくは専門職学位を有する者又は2009年9月までに修士の学位若しくは専門職学位を授与される見込みの者
- ② 外国において修士の学位若しくは専門職学位に相当する学位を授与された者又は2009年9月までに修士の学位若しくは専門職学位に相当する学位を授与される見込みの者
- ③ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位若しくは専門職学位に相当する学位を授与された者又は2009年9月までに修士の学位若しくは専門職学位に相当する学位を授与される見込みの者
- ④ 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位若しくは専門職学位に相当する学位を授与された者又は2009年9月までに修士の学位若しくは専門職学位に相当する学位を授与される見込みの者
- ⑤ 文部科学大臣の指定した者
- ⑥ 大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、2009年10月1日に24歳に達しているもの

(注1)岡山大学大学院博士前期課程又は修士課程を2009年9月に修了見込の留学生は、「進学者選考」として取扱いますので、検定料・入学料が不要です。

(注2)出願資格②に定める「外国において修士の学位若しくは専門職学位に相当する学位を授与された者」とは、外国において、日本の修士課程に対応する課程を修了した者で、学校教育課程年数が18年以上の者をいいます。

なお、学校教育課程年数が18年未満の者のうち日本国内又は国外の大学又は大学共同利用機関等これに準ずる研究機関において、研究生、研究員等として相当期間研究に従事している者は、出願資格を有するものとします。

(注3)出願資格③に定める「外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位若しくは専門職学位に相当する学位を授与された者」の学校教育課程年数の取り扱いは、前記(注2)と同じです。

(注4)出願資格⑤に定める「文部科学大臣の指定した者」とは、次のいずれかに該当する者で、大学等を卒業又は修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事し、著書、学術論文、学術講演、学術報告、特許などにおいて修士論文と同等以上の価値があると認められる研究業績を有するものとします。(出願資格審査申請が必要です。4. 出願資格審査をご覧ください。)

(1) 大学を卒業した者

(2) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者

(注5)出願資格⑥に定める「大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者」とは、出願資格の審査として本研究科で書類審査の後に学力検査(筆記試験、口頭試問)及び面接を行い合格した者としてします。(出願資格審査申請が必要です。4. 出願資格審査をご覧ください。)

(注6) 修士修了見込みで出願した者で、2009年9月までに修了できない者は入学を取り消します。

4. 出願資格審査

前記3の出願資格の⑤又は⑥により出願を希望する者には、出願に先立ち出願資格審査を行いますので、次の書類を以下の期間に岡山大学自然系研究科等事務部学務課大学院担当へ提出してください。

(1) 出願資格審査書類受付期間

第1回目募集	2009年 5月 8日 (金)
第2回目募集	2009年 6月 5日 (金)

(2) 出願資格審査提出書類

①出願資格認定申請・調書

本研究科所定の様式を使用してください。

②業績調書

本研究科所定の様式を使用してください。(専攻分野に 関連する研究業績等について、客観的知見等を簡明に記載してください。) なお、学術論文等は、別刷り又はその写しを添付し、研究発表の場合は、その要旨又は概要を添付してください。

③研究従事内容証明書

本研究科所定の様式を使用してください。(所属機関等が作成したもの)

④成績証明書(最終学歴)

最終出身学校長が作成したもの

⑤卒業証明書(最終学歴)

最終出身学校長が作成したもの

⑥資格免許証等

専攻分野に関連する各種免許証等参考になると思われる書類の写し(A4版にコピーして簡単な説明を付してください。)

(注) 上記の書類は、原則として英語で作成してください。(母国語が英語以外の場合は、英訳を添付してください)

5. 出願期限

第1回目募集	2009年 6月 5日 (金)
第2回目募集	2009年 7月 8日 (水)

6. 出願手続

(1) 志願者は、下記(3)の出願書類を取りそろえ、前述5. 出願期限までに下記(2)出願書類提出先へ提出してください。

(2) 出願書類提出先

〒700-8530 岡山市北区津島中三丁目1-1 岡山大学
自然系研究科等 学務課 大学院担当(自然科学研究科・環境学研究科共通事務室)

(3) 出願書類等

①入学願書・履歴書

②出身大学の卒業証明書, 出身大学院の修了(見込み)証明書

③出身大学・大学院の成績証明書

④提出論文等

(1) 修士論文又はそれに代わる研究論文(英語)

(2) 修士の学位取得後の研究業績リストとそのうち代表的研究論文1点又は2点

⑤研究計画書

⑥英語能力を証明できるもの(TOEFL等)

TOEFL等がない場合は、出身大学院等による英語能力証明書

⑧(1)の推薦書に英語能力について記載がある場合は、提出の必要はありません。

⑦本国の戸籍謄本又は市民籍の証明書

⑧学長宛推薦書

- (1) 所属研究科長，所属長又は出身大学の研究科長の推薦書 1通
 - (2) 複数の指導教員等の推薦書 各1通
- ⑨写真（最近6ヶ月以内に撮影したもの，6cm×4cm，上半身，正面，脱帽，裏面に国籍及び氏名を記入し，申請書の所定の箇所に貼付してください）

⑩入学検定料 30,000円

日本国外から出願する場合

入学検定料30,000円（日本円）を次の要領に従って振込によって納付し，外国送金依頼書のコピーを提出してください。現地振込銀行において別途手数料がかかる場合は，上の金額とは別に窓口で支払いが必要です。

送金種類：電信送金

支払方法：通知払

支払銀行手数料：依頼人負担

送金金額：30,000円

送金目的：入学検定料

送金先

受取銀行：THE CHUGOKU BANK, LTD.（スイフトコード：CHGKJPJZ）

支店名：HOUKAIIN BRANCH

受取銀行住所：2-5-22, Yamatocho, Kita-ku, Okayama 700-0808 Japan

受取口座番号：104-00-1797911

受取人名：OKAYAMA UNIVERSITY

受取人住所：1-1-1, Tsushima-Naka, Kita-ku, Okayama 700-8530 Japan

日本国内から出願する場合

入学検定料は，「入学検定料振込用紙」により金融機関（ゆうちょ銀行又は郵便局を含む）の窓口で振込によって納付し，「入学検定料振込証明書」を提出してください。ただし，ATMは使用できません。入学検定料とは別に振込手数料が必要です。

なお，「入学検定料振込用紙」は岡山大学自然系研究科等事務部学務課大学院担当宛請求してください。

（注1）提出書類は，すべて規格を統一（A4版が望ましい）し，タイプを用いてください。

（注2）出願手続書類のうち，①，⑤及び⑧は，岡山大学所定の様式を使用してください。

（注3）提出書類が完全に揃っていない場合，完全かつ正確に記載されていない場合，又は提出期限が過ぎたものについては，受理しません。

（注4）提出書類の返却はしません。

（注5）国費留学生の採択が決定している方は，検定料は不要です。

上記の書類は，原則として英語で作成してください。（英語以外の母国語の場合は，英訳を添付してください）

7. 選考

応募書類により学内審査を行い可否を決定します。

8. 合格発表

第1回目募集	2009年 6月24日（水）
第2回目募集	2009年 7月29日（水）

9. 授業料等（私費留学生のみ該当 国費留学生は不要です。）

- (1) 入学料 282,000円
- (2) 授業料（年額） 535,800円（在学中に改定が行われた場合には、改定時から新たな額が適用されます）

10. 私費留学生へのお知らせ

- (1) 学業成績及び収入状況等が条件を満たせば、入学料及び授業料免除の申請を行い、全額又は半額の免除を受けられる場合があります。
- (2) 学業成績及び収入状況等が条件を満たせば、各種奨学金に申請を行い、奨学金の支給を受けられる場合があります。

11. 注意事項

留学生は渡日に先立ち、日本の風土、習慣、気候、大学の状況について、あらかじめ研究しておくことが望まれます。また研究教育は英語を主にして進めますが、日常生活では、すぐに日本語が必要になりますので、日本語についてはある程度の用意をしておくことが望まれます。

12. その他

(1) 入学検定料の返還

いかなる理由があっても振込済の入学検定料は返還しません。ただし、次の①～③の場合については、その限りではありません。

- ① 入学検定料を振り込んだが、出願書類等を提出しなかった場合
- ② 入学検定料を振り込んだが、出願が受理されなかった場合
- ③ 入学検定料を誤って二重に振り込んだ場合

(2) 入学の取り消し

出願書類等に虚偽の記載内容等があった場合は、入学後においても入学が取り消されることがあります。

(3) 個人情報の取扱い

出願書類及びこれらに記載・貼付されている個人情報並びに入学試験成績の個人情報は、入学者選抜に関する業務に使用します。

なお、これらの個人情報は、入学者選抜及び大学院教育の改善のための調査・研究の資料としても利用します。ただし、調査・研究結果の発表に際しては個人が特定できないように処理します。

また、次の個人情報は、入学者選抜以外の業務、システム等でも利用します。

- ・入学者のみ、氏名、生年月日、性別、出願資格、入学研究科、専攻等の個人情報を本学の学務システムで利用します。なお、入学者の内、入学料徴収猶予申請者、授業料免除申請者については、入学試験成績の個人情報をそれぞれの学力判定処理に利用することがあります。
- ・合格者のみ、氏名、生年月日、性別の個人情報を、本学の授業料債権管理事務システム及び授業料免除事務システムで利用します。

本募集に関する問い合わせは、下記あてに文書又はEメールで行ってください。

- (1) 出願、専攻分野、指導教員等に関する問い合わせ
〒700-8530 岡山市北区津島中3-1-1
岡山大学自然系研究科等事務部 学務課大学院担当

(FAX: 086-251-8580)

(E-mail: agf8576@adm.okayama-u.ac.jp)

(2) 奨学金, 宿舎等に関する問い合わせ

〒700-8530 岡山市北区津島中2-1-1

岡山大学学務部国際課 留学生支援担当

(FAX: 086-252-5022)

(E-mail: dde7600@adm.okayama-u.ac.jp)